第4章 津山市の子育て支援の実施状況

1. 地域における子育て支援事業

ア 地域における子育て支援サービス

(1) 子育て支援センター事業

①実施状況

子育て支援センター事業は、津山市地域と久米町地域で実施しています。

津山市地域では、平成5年度から市立一宮保育所で、企画や調整を担当する専任職員を配置し、子育て支援センター事業を行っています。子育て家庭等に対する育児不安や悩みなどについての相談や子育てサークルの育成、地域への出前保育などを実施しています。

子育て支援センターでの相談は、離乳、指しゃぶり、保育所入所、友達関係などが主な相談内容です。出前保育では、親子を対象に、手遊び、リズム遊び、親子体操、紙芝居、季節の歌や製作遊びなどを行っています。

保育所での相談サービス

単位：回

区分	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	回数	23	23	20	19

テレフオンサービス・出前相談サービスによる相談活動

(電話・メール・面接・訪問による子育て相談 月～金10:00～16:00) 単位：件

区分	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
基本的な生活習慣(睡眠・排泄等)		22	21	20	20
発育・発達(ことば・性格等)		42	41	49	36
医学的問題(湿疹・喘息等)		2	2	2	6
生活環境(家庭・近隣・地域等)		5	6	8	11
育児方法(健康・しつけ等)		28	26	2	14
その他		166	163	182	177
計		265	260	263	263

出前保育サービス

単位：回・人

区分 \ 年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
回数（回）	107	120	113	131
参加者（人）	3,929	4,150	3,738	4,210

久米町地域では、平成11年度から久米保育所において子育て支援センター事業を実施し、母親クラブ「なかよし会」の育成や出前保育を通じて保育所に通っていない児童や保護者の子育て支援を実施しています。

② 評価

津山市地域において、相談事業についてはほぼ定着していると評価できます。出前保育サービスは、利用回数が増加しており、市域の拡大に伴いさらに利用回数が増加することが見込まれます。今後、身近な単位で子育て支援センターを配置していく必要があります。

(2) 一時保育事業

① 実施状況

津山市地域では、保育所入所児童以外の児童の一時的な保育需要に対応するため、平成8年度に1か所の保育所で事業を開始しました。平成16年度は9か所の保育所で実施しています。

次のような場合に一時保育事業の対象となります。

- i) 保護者の就労、職業訓練、就学などにより断続的に家庭保育が困難となる場合。
- ii) 保護者の傷病、入院、事故、出産、介護、冠婚葬祭、ボランティア活動、地域社会活動、文化体育活動など社会的にやむを得ない理由により緊急・一時的に家庭保育が困難となる場合。
- iii) 保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するなど私的理由による場合。

一時保育実施か所数

単位：箇所

旧地域 \ 年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市	4	4	8	8	9
加茂町	0	0	0	0	0
阿波村	—	—	—	—	—
勝北町	0	0	0	0	0
久米町	0	0	0	0	0

②評 価

津山市地域では、「つやまし新エンゼルプラン」での実施目標を12か所としていますが、実施は9か所にとどまっています。ただし、一時保育室がないなどの理由で市の補助対象とならず自主事業として実施している保育所もあります。

一時保育の利用数は年々増加しており、申し込みに応じきれない保育所もあり、ニーズに対応した増設が求められます。

さらに、一時保育事業だけではなく、定期的な一時保育利用者に対応するため、特別保育事業を新規に実施することも検討しながら一時的な保育需要に対応していく必要があります。

(3) 病後児保育事業（乳幼児健康支援一時預かり事業）

①実施状況

本事業は、医療機関による入院治療の必要はないが、病気回復期にあつて安静の確保に配慮する必要があり集団保育が困難な入所児童で、かつ保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産などにより家庭での保育が困難な児童を対象に、病院、診療所、保育所などで実施するもので、保育所入所児童の病気の回復期における保護者の子育てと就労の両立支援を図ることを目的としたものです。

津山市地域では、平成14年度から医療機関1か所で実施しています。

病後児保育事業実施状況と利用人数

単位：箇所・人

旧地域	年度	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
		か所数	利用人数	か所数	利用人数	か所数	利用人数	か所数	利用人数
津山市		—	—	—	—	1	222	1	272
加茂町		—	—	—	—	—	—	—	—
阿波村		—	—	—	—	—	—	—	—
勝北町		—	—	—	—	—	—	—	—
久米町		—	—	—	—	—	—	—	—

②評 価

「つやまし新エンゼルプラン」における実施目標は2か所ですが、1か所での実施にとどまっています。ただし、医療機関で実施することにより病後児だけでなく病児の保育も可能になっています。利用者数は年々増加しており、市域が拡大することに伴い増加することが見込まれ、増設を図る必要があります。

(4) 放課後児童健全育成事業

①実施状況

昼間に保護者がいない家庭の小学校低学年児童を対象に、授業の終了後、生活や遊びを通じて子どもの健やかな発達を促すため、国県の補助制度を活用し、各児童クラブ運営委員会または社会福祉法人に本事業を委託し実施しています。

放課後児童クラブは、専任の指導員を置き、子どもたちの生活と遊びの指導を行いながら児童の健全育成に取り組んでいます。

放課後児童クラブ開設クラブ

単位：箇所

旧地域	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市		16	16	17	17	17
加茂町		—	—	—	—	1
阿波村		—	—	—	—	—
勝北町		—	—	—	1	2
久米町		—	—	—	—	—
計		16	16	17	18	20

開設クラブの状況

クラブ名	開設場所		開設年月
北小ひなづる	津山市山北238	北小学校内	平成6年4月
鶴山小学校ひよこ	津山市志戸部76-6	民家借用	平成7年4月
やよいなかよし	津山市大田121	弥生小学校内	平成6年4月
たんぽぽ	津山市川崎842-3	町内公会堂	平成6年4月
たかの	津山市高野本郷1459-1	民家借用	平成6年4月
あおぞら	津山市東一宮87-1	一宮小学校内	平成9年4月
ひまわり	津山市山北740	東小学校内	平成6年4月
こばと	津山市昭和町2丁目73-1	南小学校内	平成6年4月
さらっこ	津山市皿675-3	佐良山公民館	平成9年4月
河辺小	津山市国分寺630	民家借用	平成9年4月
大崎	津山市金井76	大崎小学校内	平成6年4月
高田げんき	津山市下横野1075	高田小学校内	平成8年5月
西小のびのび	津山市小田中1360	西小学校内	平成8年5月
向陽ひまわり	津山市二宮608-1	向陽小学校内	平成8年5月
ひろの	津山市田熊2169	広野保育園内	平成12年4月
成名	津山市野村135-2	成名小学校内	平成15年4月

児童健全育成施設わらべ	津山市林田1695-3	法人施設	平成13年4月
かもっこ	津山市加茂町塔中80	加茂小学校内	平成16年4月
日本原荘	津山市新野東1797	法人施設	平成15年4月
勝加茂	津山市下野田388-1	勝加茂小学校内	平成16年7月

② 評価

津山市地域については、「つやまし新エンゼルプラン」ではすべての小学校（19校）に対応したクラブの開設が実施目標ですが、現在17か所（内1か所は全市対応）にとどまっています。開設にあたっては、保護者だけではなく学校や地域の理解と協力がが必要です。

各放課後児童クラブの開設場所は、学校施設や民家などまちまちですが、平成15年度に保護者の強い要望で2クラブが民家などから学校敷地内へ移転しました。民家借用の家賃が保護者負担金を押し上げている、利用児童の増加により現施設が手狭になっているなどの問題が生じているクラブがあります。

勝北町地域では平成15年度から、加茂町地域でも平成16年度から放課後児童クラブを開設しており、クラブ開設のニーズはますます高まっていくものと考えられます。

今後、地域のニーズを踏まえながら保護者や学校、地域の理解と協力を得て新設を図っていくことが必要です。また、既設のクラブにおいて、実施場所、児童の安全管理、生活指導や指導員の計画的な研修など質的な向上が必要です。

イ 保育サービス

(1) 通常保育

① 実施状況

保育所は、保護者の就労や病気などにより、家庭において保育ができない場合に保護者の委託を受けて保育することを目的とし、次世代を担う心豊かな人間性をもった子どもを育てる場としての役割を果たす児童福祉施設です。

津山市地域では、23保育所の内、22か所が民間保育所という特徴を有しており、特別保育の充実など保育ニーズに対応した、細やかな保育サービスの提供がなされています。合併町村地域は、公立7か所、私立1か所があります。

保育所入所状況（年度末現在）

単位：人

旧地域	年度 保育所数 (か所)	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
		津山市	23(22)	2,520	2,539
加茂町	2(1)	117	113	103	119

阿波村	—	2	2	4	5
勝北町	4	234	224	217	204
久米町	2	186	181	187	196
計	31 (23)	3,059	3,059	3,104	3,059

※保育所数の（ ）内は、私立保育所数を内数で示した。以下、同じ。

※阿波村には保育所はないが、他市町村へ委託している人数を示した。

② 評価

津山市地域においては少子化傾向にかかわらず、入所人数は横ばい傾向であり、保育所入所の需要は高まっていると考えられます。特に、市内中心部の保育需要が高まっています。

合併町村地域では、施設の老朽化などとともに定員割れの保育所もあり、今後、施設の統合を図っていく必要があります。

(2) 延長保育

① 実施状況

保護者の勤務や通勤時間などの理由で、保育時間の延長が必要な児童を対象に延長保育を実施しています。

延長保育実施か所数

単位：箇所

旧地域	年度	保育所数	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市		23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)
加茂町		2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
阿波村		—	—	—	—	—	—
勝北町		4	4	4	4	4	4
久米町		2	2	2	2	2	2
計		31 (23)	30 (22)	30 (22)	30 (22)	30 (22)	30 (22)

② 評価

「つやまし新エンゼルプラン」の実施目標どおり、津山市地域では全保育所で実施しています。合併町村地域でも8保育所中、7保育所で実施されています。

(3) 休日保育

①実施状況

日曜日や祝日にも仕事がある場合や病気・事故・冠婚葬祭などの理由により、休日
に保育所での保育を実施する必要のある人に対応するため、津山市地域では平成12年
5月に2か所の保育所で事業を開始しました。平成16年度は4か所の保育所で実施し
ています。

休日保育実施か所数

単位：箇所

旧地域	年度	保育所数	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市		23 (22)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	4 (4)
加茂町		2 (1)	0	0	0	0	0
阿波村		—	—	—	—	—	—
勝北町		4	0	0	0	0	0
久米町		2	0	0	0	0	0
計		31 (23)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	4 (4)

②評 価

「つやまし新エンゼルプラン」での実施目標は5か所ですが、津山市地域では4か
所での実施にとどまっています。合併町村地域では実施されていません。

(4) 障害児保育

①実施状況

保育に欠ける障害児で、保育所での集団保育が可能である限り保育所に受け入れて
健常児と一緒に保育することが児童の福祉を図る上で望ましいとされています。一般
的な入所の条件は、中程度までの障害児で集団保育が可能であり日々通所できること
です。

障害児保育実施か所数

単位：箇所

旧地域	年度	保育所数	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市		23 (22)	9 (8)	13 (12)	13 (12)	13 (13)	9 (8)
加茂町		2 (1)	1	1	1	0	0
阿波村		—	—	—	—	—	—
勝北町		4	0	0	0	0	0
久米町		2	(1)※	1	1	1	2

計	31 (23)	10 (9)	15 (12)	15 (12)	15	13 (8)
---	---------	--------	---------	---------	----	--------

※町外私立保育所への委託分を掲載。

②評 価

津山市地域では障害児保育のニーズに応えるよう、療育手帳や身体障害者手帳を持っている障害児にとどまらず、岡山県の補助制度を活用し児童相談所や医療機関の診断書がある場合には、保育士を加配できるよう対応してきました。

加配の制度の対象にならないが情緒面・行動面が気になる児童にも細やかな対応ができるよう各保育所ならびに関係団体での研修を行うなど、保育内容の向上を図っていくことが必要です。

(5) 保育所地域活動事業

①実施状況

保育所は地域に最も密着した保育や子育ての専門施設として、地域における福祉活動の展開が求められています。そのため、地域の高齢者や保育所に通っていない児童との交流事業、保護者を対象とした育児講座などの幅広い地域活動を行っています。

地域活動実施か所数

単位：箇所

年度 旧地域	保育所数	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
津山市	23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)	23 (22)
加茂町	2 (1)	0	0	0	0	0
阿波村	—	—	—	—	—	—
勝北町	4	4	4	4	4	4
久米町	2	2	2	2	2	2
計	31 (23)	29 (22)	29 (22)	29 (22)	29 (22)	29 (22)

②評 価

地域の高齢者や異年齢児との交流は児童の健全育成にとって重要な事業であり、また、核家族化が進行する中で豊かな地域社会を築いていくためにも有効です。本事業が引き続き活発に行われるよう支援していきます。

ウ 児童の健全育成事業

(1) 児童館

①実施状況

児童館は、自由に身体を使って遊ぶことのできる遊戯室、児童図書や絵本などを通

じて児童の情操を豊かにする読書のための読書室、子育ての悩みの相談、育児の情報交換、異年齢児の交流、地域組織活動の場などのための集会室などを備えた室内型の児童厚生施設です。

同世代の子どもをもつ親同士が出会ったり、育児の悩みや不安を相談したり、気の合う仲間同士が情報交換をしたりする場としても利用されており、児童の遊びを指導する者（児童厚生員）を配置し各種行事を開催しています。

中央児童館利用状況

単位：人

年度 区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
児 童	15,797	14,445	14,054	15,737
保護者	7,647	7,365	6,501	6,676
団 体	8,883	8,803	4,449	3,874
計	32,327	30,613	25,004	26,287
月平均利用者数	2,693	2,551	2,084	2,390
1日平均利用者数	112	104	86	101

南児童館利用状況（平成13年5月開館）

単位：人

年度 区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
児 童	—	9,308	10,825	12,274
保護者	—	3,925	4,596	5,258
団 体	—	2,800	2,825	2,721
計	—	16,033	18,246	20,253
月平均利用者数	—	1,358	1,521	1,688
1日平均利用者数	—	59	62	69

中央・南児童館主催の主な行事

- ・ サツマイモのつるさし（5月）
- ・ 子育て講座（6月, 11月）
- ・ サツマイモの取り入れ（10月）
- ・ とんど焼（1月）
- ・ ひな祭り（3月）
- ・ ジャガイモの取り入れ（6月）
- ・ 出前児童館（7月）
- ・ お正月お飾り作り（12月）
- ・ 豆まき（2月）

加茂児童館

単位：人

年度 区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
児 童	8,513	7,241	6,386	5,426
保護者	2,125	1,139	1,908	2,042
団 体	188	672	234	243
計	10,826	9,052	8,528	7,711
月平均利用者数	902	754	711	643
1日平均利用者数	37	32	30	27

加茂児童館主催の主な行事

- ・みち草散歩、お花見 (4月)
- ・子どもの日の集い、母の日プレゼント作り (5月)
- ・ふれあい農園お田植え祭り、父の日プレゼント作り (6月)
- ・納涼祭、アートキャラメル (7月)
- ・ペットボトルロケットを飛ばそう、スライム作り (8月)
- ・ペットボトル万華鏡作り、ふれあい農園収穫祭 (9月)
- ・移動動物園 (ふれあい動物園)、体力増進活動 (10月)
- ・たき火広場で遊ぼう、防災の集い (11月)
- ・クリスマス会、お正月用お飾り作り (12月)
- ・とんど祭り、お話会 (1月)
- ・バレンタインキッチン、室内ゲーム (2月)
- ・三世代交流運動会、親子で模型作り (3月)

阿波児童館

単位：人

年度 区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
児 童	2,086	2,046	2,327	2,099
保護者	685	660	529	347
団 体	436	766	961	579
計	3,207	3,472	3,817	3,025
月平均利用者数	267	289	318	252
1日平均利用者数	10	11	12	10

阿波児童館主催の主な行事

- ・食品トレイの回収 (4月～3月、月1回：母親クラブによる)

- ・ウォーキング (6月)
- ・おすずみ会 (8月)
- ・クリスマス会 (1月)
- ・たなばた会 (7月)
- ・おやこ手づくり教室 (12月)

② 評価

「つやまし新エンゼルプラン」での施策目標は、出前児童館の推進、地域文化の伝承活動の推進、異年齢児の交流事業の実施を掲げています。これらは、各児童館の行事の中で実施しており、児童の遊び場や母親らの気軽な集まりの場として、児童館は重要な役割を果たしています。

(2) 家庭児童相談室

① 実施状況

中央児童館に併設し、家庭児童相談員が、家庭における子どもの生活、知能・言語・学校生活などのさまざまな相談指導業務を行い、児童の養育の適正化、家庭内における人間関係の健全化など、家庭児童福祉の向上を図るため相談にあたっています。

相談別件数

単位：件

年度		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
区分					
性格・生活習慣等		255	225	230	196
知能・言語		96	83	72	65
学校生活	人間関係	125	59	144	108
	登校拒否	7	21	27	51
	その他	47	46	144	110
非行		6	15	10	5
家族関係		187	213	117	115
環境福祉		87	68	52	44
心身障害		36	56	62	56
その他		259	276	311	182
計		1,105	1,130	1,169	932

※津山市地域以外では、家庭児童相談室は設置していない。

② 評価

問題の早期発見、早期治療のため相談指導の充実に努める必要があります。相談内容は、対人関係の不調和、ひきこもり、非行、心身障害など複雑多岐にわたっています。

す。関係機関との連絡を密に保ち、緊急の場合などに的確に対処できるような体制が必要で

(3) 児童遊園

① 実施状況

児童遊園は、ぶらんこ、砂場、すべり台などの遊具、広場、便所などの設備を設け、児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、交通事故等の防止に資する目的で設置した屋外型の児童厚生施設です。

津山市地域に7ヵ所設置されており、合併町村地域には設置されていません。

設置数

単位：箇所

年度 旧地域	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	津山市	8	8	7
加茂町	—	—	—	—
阿波村	—	—	—	—
勝北町	—	—	—	—
久米町	—	—	—	—
計	—	—	—	—

② 評価

児童遊園は昭和40年代に整備されたものが多く、設備の老朽化が目立ちます。子ども達に適切な遊び場所を提供するため定期的に遊具や設備の点検をする必要があります。

エ 子育てサークルの育成

(1) 親子クラブ

① 実施状況

親子クラブは、未就園児とその家族（主に母親）のサークルで、各地区の公民館などを利用して月1、2回活動しています。活動内容は、親子遊び、歯磨き教室、クリスマス会などで、親同士の情報交換の場となっています。

親子クラブ開設状況

単位：クラブ

旧地域	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
津山市		19	19	19	19
加茂町		2	2	2	2
阿波村		—	—	—	—
勝北町		4	4	4	4
久米町		—	—	—	—
計		25	25	25	25

②評価

「つやまし新エンゼルプラン」の実施目標は23クラブです。今後、未実施の地区での新規開設が望まれます。合併町村地域の中で親子クラブのない地域もあります。これらの地域での開設も望まれます。

(2)母親クラブ

①実施状況

母親クラブは、2歳から就学前までのお子さんとその保護者のサークルです。児童館などを利用して、ミニ運動会、映画会、避難訓練、クリスマス会、交通安全教室、誕生日会などを行っています。

母親クラブ開設状況

単位：クラブ

旧地域	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
津山市		1	2	2	2
加茂町		1	1	1	1
阿波村		1	1	1	1
勝北町		2	2	2	2
久米町		2	2	2	2
計		7	8	8	8

②評価

津山市地域では、母親クラブの育成支援として「つやまし新エンゼルプラン」の実施目標を6クラブとしていますが、現在は2つの児童館を拠点とする母親クラブひとつずつあり、それぞれ週に2回、異なる曜日で活動しているので、実質4グループが存在することになります。

合併町村にも6つの母親クラブがあり、今後、クラブの育成とともに、相互の交流を図っていくことも必要です。

(3) 子育てひろば活動

①実施状況

NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場による子育てひろば「ばぶばぶばんびーに」やおかやまコープ美作地域による子育てひろば「じゃんけんポン」の活動など、赤ちゃんから保育所・幼稚園就園前の親子を対象とした子育てひろば活動が実施されています。

②評 価

NPOなどによる子育て支援活動がさらに広がっていくことが必要です。そのための場所の確保や運営への支援が今後の課題となっています。

オ 様々な子育て支援事業

(1) おめでとう訪問

①実施状況

「おめでとう訪問」は出産後間もない家庭へ地域の愛育委員が訪問し、これから子育てが始まる家庭の孤立化を防ぎ、地域の子育て支援の推進を図ることを目的に津山市社会福祉協議会と津山市愛育委員連合会の共同事業として平成16年1月より実施されています。

現在、市の社会福祉事務所で乳幼児医療の申請をうける際に、訪問の可否について希望調査を行い、社会福祉協議会で集計を行い、地区の愛育委員がお祝い品を持って訪問しています。

おめでとう訪問件数

単位：件

月	訪問件数	月	訪問件数
平成16年1月	9	平成16年6月	21
2月	16	7月	12
3月	13	8月	12
4月	25	9月	19
5月	17	10月	26
		計	170

②評 価

地域の愛育委員が訪問することにより身近な子育ての相談相手となり、子育て支援に役立っています。

訪問の可否について希望調査を行う際、訪問を希望されない方も多く、理解を求めていく必要があります。

(2) 子育て器具貸出し事業

①実施状況

津山市社会福祉協議会では、子育てに関する経済的負担の軽減と、子どもの成長に伴って不用となる器具のリサイクルを図ることを目的に、子育て器具貸出し事業を行っています。

子育て器具の数量と貸出し件数（平成15年度実績）

単位：件

備 品 名	数 量	貸出件数	備 品 名	数 量	貸出件数
ベビーベット	26	54	チャイルドシート	38	118
ベビーバス	10	17	ジュニアシート	10	16
ベビーカー	22	56	そ の 他	—	32
			合 計	106	293

②評 価

利用者は年々増加しています。子育て器具は、不用となった方などからの寄付により対応しています。今後貸出し器具の充実が課題となっています。

(3) 子育て支援の啓発事業

①実施状況

津山市地域では、平成9年度から子育て関係サービスの提供の場所や内容をまとめた「子育てマップ」を作成し、転入や乳児健診の際に配布しています。また、平成12年6月に市のホームページに「子育て情報ぴよぴよルーム」を開設して情報の提供に努めています。さらに、ホームページ上に掲示板「おしゃべりピヨピヨ」を設けています。さらに広報「つやま」でも「のびのびコーナー」を設け、子育てに関する情報提供に努めています。

②評 価

「子育てマップ」や「子育て情報ぴよぴよルーム」「のびのびコーナー」では市の福祉、保健、教育の部局が連携し、子育てに関する相談や健診、各種支援制度、保育所・幼稚園・放課後児童クラブなどの情報を掲載しています。今後も市民に分かりや

すい情報提供が必要です。

ホームページの掲示板には各種情報や悩み事の相談などの書き込みがあり、子育ての情報交換などに役立っています。

ホームページには、最新情報を提供するよう、適切な管理が必要です。

(4) 行政内部での子ども施策の連携

① 実施状況

子どもに関する施策を推進している関係課の連携を図り、情報を共有化したり調査研究を共同で行っていくことにより教育および子育て支援の充実を図ることを目的として平成14年4月に「つやまっ子未来プロジェクト会議」が設置されました。定期的にプロジェクト会議を開催し、情報の共有や連携を図っています。

さらに、平成15年5月には子どもに関する総合的な案内窓口として「子育て総合窓口」を市役所1階社会福祉事務所に開設しました。担当職員が子どもに関する施策の研修を重ねるなどし、対応しています。

② 評価

つやまっ子未来プロジェクト会議は、関係各課の連携に役立つのみならず、本行動計画策定にあたって主要な役割を果たしています。

子育て総合窓口は、案内に役立つマニュアルを作成し人事異動などで職員が変わっても容易に対応できるような体制を整えるとともに、関係機関との連携を図ることが必要です。